

がんばっています！JA柏崎越後姫栽培部会！

柏崎

平成21年に設立したJA柏崎越後姫栽培部会は部会員4戸の小さな産地ですが、相互研鑽や高品質な越後姫を消費者に安定的に届けるために、月1回の相互巡回研修会を開催しています。

相互巡回の中で、効果の高かった資材や農薬、高品質安定生産のための肥培管理、温湿度管理のコツなどを情報交換し合い、品質の平準化を図っています。

近年、柏崎地域で問題となっていたうどんこ病対策では、昨年に引き続き、育苗時の温湯消毒を2ほ場で取り組み、部会員でその効果を確認し合いました。

一方、1ほ場では難防除害虫のハダニ類が発生し、その駆除に苦慮していたため、天敵の導入を図り、お

互いの目で見て効果を確認し合っています。

平成29年1月12日には平成29年産越後姫出荷販売会議を部会員及び地元市場、JA、普及指導センターの参加のもと、JA柏崎本店で開催しました。柏崎独自の少量パック化により出荷パック数を増やすことや、これまで不定期に行っていた糖度や硬度などの品質調査を月2回の実施にするなど、産地として信頼される部会となるための方策などを検討しました。

1月中旬から共選出荷も始まり、地元スーパーにも柏崎産の越後姫が並ぶようになりました。多くの人が地元のおいしい越後姫を手にとってもらえるよう普及指導センターでは今後も指導・支援を行っていきます。



月1回のハウス巡回で情報交換を行っています



ナミハダニを食べる天敵のミヤコカブリダニ

畜産を担う若い力「上越畜産担い手グループ」

上越

上越地域では、畜産に携わる若者がグループを作り、経営の勉強や技術向上にがんばっています。

平成26年に結成された「上越畜産担い手グループ」は、若手畜産農家や後継者、酪農ヘルパーなどが参加し、お互いの連携を深め、上越地域の畜産を盛り上げる活動をしています。

担い手グループは、酪農や和牛肥育、和牛繁殖など畜種を越えた活動が特徴です。今年度は和牛肥育をテーマに、農場訪問と先進事例研修を行いました。

農場訪問では、後継者であるメンバー2名の農場を訪問し、肥育管理の技術を学びました。

先進事例研修では、長岡地域の先進的な農場を訪問し、経営や技術などについて意見交換を行いました。

また、衛生対策の重要性を学ぶための勉強会を開催し、上越家畜診療所から「21世紀初頭における家畜伝染病」について講義を受けました。

担い手グループの中には、既に経営継承や就農を検討しているメンバーもいます。

普及指導センターでは、研修会や情報交換会の開催などグループ全体の活動を支援するとともに、メンバー個々の課題解決に向けても支援を行っていかせています。



和牛肥育に従事するメンバーの農場訪問



他地域の若手と肥育技術について意見交換